



# 交通安全ニュース

令和 6年 6月  
第159号

(一社) 滋賀県トラック協会 安全環境委員会

## 事業用トラックによる重大事故発生への対応

5月6日(月)に群馬県内の国道において、また5月14日(火)には埼玉県内の首都高速道路において、事業用トラックが第1当事者となる死亡事故が発生致しました。

産業活動や国民生活に不可欠な物流を担う事業用トラックが第1当事者となるこうした重大事故が相次ぐことにより、国民の生命・財産への甚大な被害を生じさせることで、これまで培われてきた社会的信頼性が一気に損なわれることとなります。

トラック運送業界としては、こうした交通事故の再発防止に向け、関係者一丸となって真剣に取り組むことが、社会に対する信頼性確保に向けた重要課題となります。

最近の交通事故による死亡事故発生件数の状況を参考としていただき再発防止に努めていただきますようよろしくお願いいたします。

事業用貨物自動車第1当事者となる死亡事故件数の推移 (R2～R6)



※軽トラックの件数を除く

資料：警察庁「交通事故統計」

全日本トラック協会「トラック事業における総合安全プラン2025」における目標値と実績



数字は平均値を指す。出典：警察庁「交通事故統計」および「飲酒運転人身事故発生状況」(交通統計)

- ◎ 改正された改善基準告示に則る常務割の作成及び運転時間や拘束時間、休息期間確保などドライバーに対する関係法令を遵守することを徹底してください。
- ◎ 最高速度・規制速度の遵守及び適正な車間距離の確保など、道路交通法等関係法令遵守の関係者に対する指導を徹底してください。
- ◎ 乗務前後の対面点呼時はもとより、対面でなく電話その他の方法で行う点呼の場合においても、アルコール検知器を用いた酒気帯びの有無の確認が確実にできる点呼実施体制を確立してください。

## 雨の日の夜は「グレア現象」に注意

グレア現象とは対向車と自分の車のヘッドライトが重なった部分で、お互いの光が反射し合って、その間にいる歩行者が蒸発(グレア)したように見えなくなってしまうというもの。

雨の日は、路面の雨水にライトの光が乱反射して、対向車がなくてもグレア現象が起き、センターラインや停止線、横断歩道といった道路標示が見えなくなることがあるのです。

これが起きると、ドライバーは車線などの確認にとられ、歩行者などの発見が遅れ事故がおきてしまう可能性があります。

雨の運転では、このグレア現象にも注意が必要です。





# 高速しが

令和6年  
(2024)  
6月号

発行 滋賀県高速道路交通警察隊・滋賀県高速道路交通安全協議会

## 梅雨期における交通事故防止



今年もまた梅雨の季節を迎えました。各地でゲリラ豪雨や集中豪雨が発生し、運行に支障をきたす場合があります。

運転には、こまめに気象情報を確認し、いつも以上の目配り、気配りの気持ちを持って危険な場合は運行を中止するなどして交通事故防止に努めてください。

### 雨の日の気をつけポイント

#### ① 「急」な操作は厳禁

雨の降り始めの路面や、ワダチの水たまりは非常に滑りやすくハンドル操作が効かなくなることがあります。

また、センターラインなどの白線は水に濡れるとツルツルした表面となり、片輪が載るだけでも左右のバランスが崩れスリップしやすくなります。

雨の日は、慌てて急ブレーキを踏んだり急ハンドルを切ることのないよう、速度は控えめに安全運転に心がけてください。



#### ② 雨のしずくにご用心

出発前に注意したいのが雨の日に車内に持ち込まれる雨のしずくです。乗り込むときに畳んだ傘や衣服についた雨のしずくは、運転席のフロアやシートを濡らします。気にせずにスタートし、濡れた靴底でアクセルやブレーキペダルを踏むと思わず滑ってしまうことがあるので注意が必要です。

できるだけ、雨のしずくが車内に入らないよう工夫する気配りをしましょう。



#### ③ 視界不良にご注意

雨天時はガラスやミラーについた水滴により視界不良になり見落としの原因になります。日頃からフロントガラスやミラーの油膜や汚れなどを清掃しておきましょう。

また劣化したワイパーのゴムは定期的に交換をして、良好な視界を保つためのメンテナンスを行いましょう。



# 高速道路での“追突”にご注意を！

高速道路で発生する人身事故のうち、渋滞などにより本線上で減速または停止中の車に追突するケースが8割を占めます。漫然運転や脇見運転をしたり、車間距離を十分とらずに追従して前車の減速に気づくのが遅れ、ブレーキが間に合わず追突したというケースも多いのが大きな特徴です。

## 追突事故を防ぐために！

◆ 交通量が多い時は、先行車群の流れの停滞を予測しましょう！

※ 先行車の速度に注意し、車の流れを読んで急激な減速に対処できる運転を。



◆ トンネルの出入り口付近では、先行車のスピードダウンを予測しましょう！

※ トンネルの暗さに戸惑わないように、トンネル手前からライトを点灯し速度を落としましょう。



◆ 先行車群に追いついた時は、渋滞などによる先行車の減速・停止を警戒しましょう！

※ 先行車の流れに合わせて安全に停止できる車間距離をとり、渋滞情報を確認しましょう。



## 事故や故障で緊急停車したときは

1 ハザードランプを点灯し可能な限り車を路肩に入れましょう。

2 追突防止のため三角停止板や発煙筒を利用しましょう。

3 救援を待つ間はガードレールの外など安全な場所で待ちましょう。

4 路肩や本線上で事故当事者同士の話し合いはやめましょう。

5 路肩でパンク修理やタイヤチェーンの脱着はやめましょう。





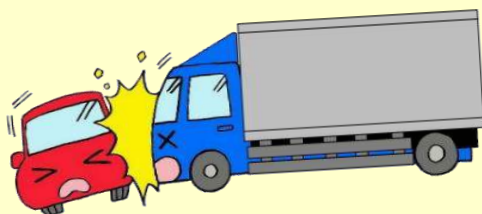
# 高速 し が 号外

令和6年5月

発行 激賀県高速道路交通警察隊・激賀県高速道路交通安全協議会

## 運行管理が大切です！

過日、埼玉県首都高速道路で  
事業用の大型トラックが渋滞中の車列に追突し、乗用車3台を  
炎上させた上、3人を死亡させる交通事故が発生しましたが、  
事故当時、「大型トラックの運転手は、  
ぶつかったときに意識がなかった」等  
と報道されています。



この他にも、全国的に事業用車両のドライバーが  
過労や病気を疑われる状態  
で運転し、重大事故を引き起こす事例が発生しています。



### ★ 事故を防ぐには？ ★

重要

- 1 運転手の持病・既往症の早期把握
- 2 毎日の健康状態の確認
- 3 無理のない運行計画の作成
- 4 運行状況の把握（運転日誌の確認）

運行管理者

要チェックや！



きめ細かい安全管理によりドライバーを事故から守りましょう！



運行管理者が、その業務に関し、運転者  
に対し、過労や病気等の状態で運転すること  
を命じ、または、容認した場合、  
3年以下の懲役または50万円以下の罰金  
となります。